

IAPH 第 24 回上海総会（世界港湾会議）の概要

IAPH 第 24 回総会は中国の上海で開催されたが、IAPH として中国本土で開催する初めての総会であった。IAPH 設立 50 周年を祝う節目の年でもあり、世界 56 ヶ国から、同伴者を含めて約 670 名の参加登録があり、成功裡に終了した。

わが国からの参加は直前に中国各地で起きた反日デモの影響も懸念されたが、国土交通省港湾局および日本港湾協会から呼びかけていただいたおかげで、前回の南アフリカ/ダーバン総会より若干多く、登録者は 50 名を数え、この他に同伴者が 7 名であった。

以下、概要を報告する。

1. 総会のあらまし

- 1.1 会期：2005 年 5 月 21 日（土）～5 月 27 日（金）
- 1.2 会場：中華人民共和国 上海市 国際会議センター
- 1.3 総会テーマ：“ The Opportunities and Challenges Facing the World's Ports ”
- 世界の港湾の直面するチャンスと挑戦 -
- 1.4 総会ホスト：上海国際港務（集団）有限公司
- 1.5 参加者数：56 ヶ国、代表者約 670 名（同伴者含む） その他地元招待者・展示出展者 500 名

2. 総会の構成

- 2.1 専門委員会（5 月 21～22 日）
 - 複合輸送・物流委員会
 - 船舶動向委員会
 - 安全・環境・海事委員会
 - 荷役作業委員会
 - 通信・ネットワーク委員会
 - 安全・環境・海事委員会 / 浚渫問題タスクフォース合同委員会
 - 法的保護委員会
 - 港湾計画・建設委員会
 - 貿易手続等委員会
- 2.2 開会式（5 月 23 日）
 - 開会宣言 Lu Haihu 上海国際港務（集団）有限公司総経理・IAPH 総会副会長
 - 祝辞 Han Zheng 上海市長
 - 基調講演 Zhang Chunxian 中国交通大臣
- 2.3 IAPH50 周年祝賀会（5 月 23 日）

IAPH 前会長である名古屋港管理組合副管理者 染谷氏の司会で、IAPH 創立 50 周年記念式典が開催された。記念ビデオの上演、出席名誉会員の紹介、(財)国際港湾協会協力財団への感謝表彰、NPO 団体である“ Save the Children ”基金への寄附金の贈呈等が行われ、その後 A.P. Moller-Maersk Group, Container Business CEO である Tommy Thomsen 氏の特別講演が行われた。

2.4 第1全体会議(5月23日)

会長開会挨拶
主催者歓迎挨拶
定足数確認
事務総長報告
論文コンテスト表彰
IT賞表彰

2.5 第1~第6ワーキング・セッション(5月23日~26日)

第1作業部会(5月23日): “ Impacts of Economic Globalization on the Development of Port & Shipping Industry ”

- 経済のグローバル化が港湾と海運業の発展に与える影響 -

第2作業部会(5月24日): “ Port Development Strategy ”

- 港湾の成長戦略 -

第3作業部会(5月24日): “ Port Security ”

- 港湾の保安 -

第4作業部会(5月25日): “ Diversified Port Investment ”

- 港湾への多様な投資 -

第5作業部会(5月26日): “ Environment and Dredging Projects ”

- 環境と浚渫プロジェクト -

第6作業部会(5月26日): “ Maritime and Port Innovation ”

- 海事と港湾の革新 -

日本からは、第1作業部会で国土交通省北海道局の成瀬課長とトヨタ自動車物流企画部の内山田部長、第4作業部会で日本郵船の青山取締役、第5作業部会で那覇港管理組合の堤副管理者と、合計4件の講演が行われた。

なお、これらの内容については、来る8月1日(月)(財)国際港湾協会協力財団主催の日本セミナーで報告される予定である。

2.6 洋山港視察(5月25日)

洋山港は現在の上海港の船混みをなくし、また最大の弱点である水深問題を一気に解消する方策として、外洋にある大小洋山島の上に新しくコンテナ埠頭を建設するもので、2005年末の開港を目指している。本土との連絡橋はなんと32Kmにもおよぶという途方もないプロジェクトである。今回は上海港および上海市の特別の配慮により、連絡橋の工事は未完であるが、仮開通式をして、なんとか通してもらったことができたものであり、来訪者としては我々が渡り初めということであった。

最終的には2020年の完成予定であるが、その時には50バース、2,000万TEUという、世界No.1の、巨大なコンテナ施設が出来上がることになる。

2.7 第2全体会議・閉会式(5月27日)

予算案の承認
名誉会員の選出と会長表彰
第25回Houston総会の紹介
第26回総会開催地の発表
会長および新副会長の選出
新旧両会長の挨拶

3. 理事会

- 3.1 地域別理事会 (5月22日)
- 3.2 総会前全体理事会 (5月22日)
- 3.3 総会後理事会 (5月27日)

わが国を代表する理事として、国土交通省 成瀬課長、名古屋港管理組合 染谷副管理者、大阪市 奥田港湾局長が就任し、またその代理理事として、東京都 成田港湾局長、横浜市 中根港湾局長、神戸市 小柴みなと総局長がそれぞれ就任した。

4. 第1、第2全体会議の主要事項

4.1 2005 / 2006 年の体制の決定

- 会長 Mr. Thomas Kornegay (米国、Port of Houston Authority)
第1副会長 Datin Paduka O.C. Phang (マレーシア、Port Klang Authority),
[アジア/オセアニア地域担当]
第2副会長 Mr. Gichiri Ndua (ケニア、ケニア港湾庁),
[アフリカ/欧州地域担当]
第3副会長 Mr. Bernard Groseclose, Jr (米国、South Carolina State Ports Authority),
[米州地域担当]

総会副会長 Ms. Argentina James (米国、Port of Houston Authority)

直前会長 Mr. Peter Struijs (オランダ、Rotterdam)

事務総長 井上 聰史氏 (日本、本部事務局)

4.2 2007 年第 25 回総会の正式招請

次回総会は、Kornegay 新会長のお膝元、米国の Houston で行われることになっており、その紹介が行われた。また、26 日夜には Houston Night を開催し、華々しい宣伝が行われた。

開催地：米国、Houston 市

会期：2007 年 4 月 27 日(金) ~ 5 月 4 日(金)

4.3 2009 年第 26 回総会開催地(African/European Region)の決定

イタリア ジェノア港より招請があり、承認された。会期は5月とされている。

4.4 予算案：2005 / 2006 年度予算案を承認

4.5 長期計画委員会：協会活動の強化策として、専門委員会活動の一層の活性化を検討してきたが、専門委員会を再編・集約し、また活動のための予算を確保することになった。

5. その他の主要事項

5.1 最新の会員数：世界 88 ケ国から、正会員 223 および賛助会員 135(2005.5.17 現在)

5.2 名誉会員およびその他の表彰：

- | | |
|------|----------------------------------|
| 名誉会員 | Mr. Peter Struijs (オランダ、ロッテルダム港) |
| | Mr. Siyabonga Gama (南ア、南ア港湾庁) |
| | Mr. Bruno Vergobbi (フランス、ダンケルク港) |
| 会長表彰 | Mr. E. Arbos (スペイン、バルセロナ港) |
| | Mr. B. Coloby (フランス、ルアーブル港) |
| | Mr. L. Keller (米国、ロサンゼルス港) |

功徳功徳(秋山賞) Mr. N. Nutkunasingam (マレーシア、ペナン港)
(2位) Mr. A. Syahminur (インドネシア、インドネシア第3港湾公社)
(3位) Mr. F. Jagede (ナイジェリア、ナイジェリア港湾庁)
Mr. D. Sinha (インド、コルカタ港)

IAPH/IT 賞(金牌) Karachi Port Trust (パキスタン)
(銀牌) Penang Port Commission (マレーシア)
(銅牌) Port Authority of Trinidad & Tobago (トリニダードトバゴ)

6. 今後の会議予定

2005年10月26日-30日	常任理事会 (Exco)	ロサンゼルス (米国)
2006年2月	アジア/オセアニア地域会議	カラチ (パキスタン)
2006年2月	アフリカ/ヨーロッパ地域会議	シネス (ポルトガル)
2006年4月9日 - 12日	中間年理事会(Mid-term Board)	ムンバイ (インド)
2006年10月	常任理事会 (Exco)	日本 (開催地未定)
2007年4月27日 - 5月4日	第25回世界港湾会議	ヒューストン (米国)
2009年春	第26回世界港湾会議	ジェノア (イタリア)

以 上